

脊椎造影検査(腰)を受けられる方へ 入院診療計画書

氏名
患者ID

様

主治医名
担当看護師名

医療者用 ⑩

※入院時この用紙をご持参下さい。

月日(日時)	/ ()			/ ()
経過(病日等)	入院～検査まで	検査～検査後3時間	検査3時間後以降	退院日
達成目標	入院・検査に対するオリエンテーションが理解でき、検査を受ける準備ができる	痛みや不安を医師や看護師に伝えることができる	頭痛・吐き気・刺入部からの出血がない。痛みやしびれの増強がない	不安なく退院できる
治療・薬剤 (点滴・内服)	内服薬の確認をします。お薬・お薬手帳をお持ちください。薬剤師が薬の指導に伺います。中止の薬を確認します。	検査前に点滴をします	点滴を落としきって終了です	
処置・検査		検査の時間になったらストレッチャーに横になり看護師と一緒に検査室に行きます。脊髄の近くに造影剤を入れ撮影します。造影検査2時間後にCT検査を行います		刺入部のガーゼをはがします 
活動・安静度 リハビリ	制限ありません	検査後はベッド上安静です。起き上がり御用の際はナースコールしてください	検査後3時間安静にしてその後看護師見守りの元、歩行します。	
食事	10時以降絶食です。		造影剤を体外に出すために水分をしっかり取ってください。3時間の安静解除後に飲食可能になります	
特別な栄養管理の有無	有 <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/>			
清潔			検査当日は入浴できません	検査翌日はシャワーのみ。翌々日より入浴可
排泄	検査前に排泄を済ませます	安静中はベッド上で尿器を使います	初回歩行確認後はトイレに行けます	
患者様及びご家族への説明生活指導	入院・検査のオリエンテーションをします。点滴前に検査着に着替えます	検査中・検査後に痛みが出たり、気分が悪い時は我慢せず医師や看護師に伝えてください。検査後は脳脊髄液を採取するため、まれに低髄液症候群を起こし、頭痛や嘔気が生じることがあります。また、造影剤の副作用が起こることもありますのでなにかありましたらナースコールを押してください。また低髄液症候群の予防の為、検査後の安静は必ず守ってください。検査後は脳脊髄液を採取するため、まれに低髄液症候群を起こし、頭痛や嘔気が生じることがあります。また、造影剤の副作用が起こることもありますのでなにかありましたらナースコールを押してください。また低髄液症候群の予防の為、検査後の安静は必ず守ってください	検査の結果は次回外来時に、主治医より説明があります。退院は9時半頃です。看護師より退院・退院後の生活・次回外来について説明があります。 	

注 病名・入院期間等は、現時点で考えられるものであり、今後検査等を進めていくに従って変わることがあります。

横須賀共済病院 整形外科 2016.6作成

上記のとおり説明を受けました

続柄

年 月 日

同意者署名

本人

その他

()